

## みず菜作りで勝ちとった「物作りのよこび！」

今月はユニークな経歴をお持ちの新農業人のご紹介です。三重県菰野町の山谷ファームの代表山谷崇文さん(29才)とオーナーの飯田嘉勝さんです。飯田さんは名古屋で会計事務所を経営されている税理士さんですが事務所は息子さんに譲られ一昨年からハウスを借り受けテニス仲間の山谷さんと二人で農業三昧の生活へと転進されました。昔からのもの作りへの興味はあったし機会があればチャレンジしたいとかねがね思っておられたとのこと。もともとこのハウスの所有者も会計事務所のお客さんだったそう遊んでいるのなら使わせて欲しいと

話はトントン拍子に進みハウス800坪を活用した農業経営に取り組むこととなりました。以前運営されていた方はこだわり栽培を指向されておりイソライトなどの人工培地利用型施設となっており、それを流用して、トレンドな野菜として話題になっていたみず菜の栽培を開始されました。ところが話はそう簡単ではありませんでした。生えたり、生えなかったりと苦労の連続で年間を通しての粗収入は70万程度と大赤字。打ちのめされて、でも何とかしなければならぬとインターネットで調査した時にM式水耕を知り、本年1月にTELされたのが弊社との関わ

りでした。早速指導と設備改造が始まり3月後半に播種、現在収穫時期を迎えられています。「以前の状況に比較すると信じられないくらいとても楽で、水耕栽培の良さというか作業体系の楽しさ、安定感を実感しており、夢みたい」とお二人の感想でした。

近隣のスーパーとの直販契約が成立し出荷が始まっていますが残り半分を活用してトマト栽培にもチャレンジし、「山谷の野菜」をブランド商品に仕上げていきたいと今後の夢を語っていただきました。異分野から農業へ先達としてのご活躍と成功を心からお祈りしております。(担当 鬼頭史一)

